

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス別府教室		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 9日		2025年 1月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	68	(回答者数) 53
○従業者評価実施期間	2025年 1月 16日		2025年 1月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療、福祉、教育のあらゆる分野の資格取得者を配置し、各分野での知識や経験を結集し総合的な療育を行っています。	精神保健福祉士、看護師、公認心理師、作業療法士、5年以上の経験のある保育士および児童指導員、教員経験者、体育指導員、歯科衛生士、美術家など多岐にわたる専門的知識のある職員を配置し、療育プログラムや療育方法を話し合い実行しています。	より個別性を高めるため、各利用児童に対し担当職員を決めることにより療育状況など把握し、より良い支援のためにどのように進めていくか検討します。
2	病院勤務経験のある、看護師や精神保健福祉士及び教員経験者や教員免許取得者が、本人及び保護者の方々の不安や悩みなどの相談に対応しています。	相談者に応じ、医療的な面では、療育センターや病院受診時に同席し、療育状況を医師に伝えたり、療育方法の確認を行っています。また、学校を含めた担当者会議にも積極的に参加し状況把握と療育方法の提案を行っています。何よりも、相談者の日ごろの不安や悩みに寄り添い解決策を提案助言し、自己決定を促しながら、対応策などを相談者ととも考えています。さらに、日常的な相談においては、クラウドシステムの連絡機能によりタイムリーな相談に応じています。	
3	専門的な情報や知識を結集して、保護者会や交流会を実施することができます。	保護者会でよく「同じような悩みを持った保護者同士の交流の場があればいいのに」とのご意見をいただきます。職員には、趣味や資格を持った職員が多数在籍しており、昨年は、ハーブ講習会(AEJAアロマインストラクター資格を持った精神保健福祉士が講師となり悩みなども話しながらホッとした時間を楽しみます)と交流会(茶話会：悩みを共有し、経験などを話しながら、解決の糸口が見つかったりしています。)を同日に開催し好評を得て継続しています。	資格取得者による裏付けのある専門的な講習会(SST・ペアレントトレーニング・障害への対応知識、心理身体コントロール、創作アート、感染など)と、趣味や興味に沿った講習会など、多種多様な保護者会を企画し実施します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ここ数年、行政からの防災安全管理等、会議や訓練など事務的な業務の増加により、事務処理の迅速化と組織化が必要になってきています。	療育内容や時間に支障とならないよう事務作業の効率化が早急の課題となり、クラウドシステムによる電子化に昨年より取り組み、効率化を図っています。	会議や訓練など充実して実施するため、組織化を進めています。また、ICTの活用を推進していきます。
2	地域住民との関わりやイベントなど、広く子供たちが地域に参加できるよう検討していくことが必要となっています。	有志の職員による事業所の利用の有無関係なく、一般の参加を意識したワークショップ(ハーブ・美術・運動)を開催している。また、展覧会の案内など、家族で楽しめるイベント情報を広報しています。	ワークショップをさらに発展するよう広報していきます。また、地域のイベントなどに注目し参加を推進していきます。

--	--	--	--